

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

ようやくコロナ明けと言えるようになってきました。京都駅は外国人観光客であふれ、社会はコロナ前の状態に戻りつつあるように見えます。しかしその間も世の中は変わってきました。ウクライナ情勢も加わって、サプライチェーンが変化し、部材の納期が長くなる一方、リモートによる業務対応が進み、様々な方法で仕事の短縮化・効率化が図れるようにもなりました。

さらに2024年度からは、我々の業界でも働き方改革による労働時間管理が徹底されるため、工期や納期が従来より長くなることが予想されます。絶えず変化していく環境に合わせて、DX推進をはじめ、新しい環境に合わせた仕事のあり方を探り、自ら変化していかねばならないと思います。

当社では2022年12月の事業再編により電製部を事業部に格上げし、2023年は施設・プラント・電製からなる「エンジニアリング事業本部」と、滋賀・愛媛・石川に各拠点を持つ「保全事業本部」の2本立て体制「E + M」で事業を展開して参りました。事業や工場ごとに業績の浮き沈みはありますが、全体としては受注・売上・事業利益とも順調に推移しております。今年も「E + M」による相互補完体制を推進し、そのシナジー効果により、安定して成長していける企業として事業運営をしていく所存です。

その思いを込めて、2024年会社方針を、

「さらなる飛躍へ 果敢に挑戦！
-信頼高め 拡げる未来-」

と致しました。

本年もまずは安全第一で、関係する全ての方々とともに成長していく企業を目指していきたいと思います。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 福井以知郎

人材育成（年次アセスメント、キャリアレビュー）について

昨年度制度改定し、育成フォローに重点化した新制度のもと、10月に一次キャリアレビュー、11月に二次キャリアレビュー、12月に三次アセスメントを実施しました。

一次・二次のキャリアレビューでは、若手の受講者が自身の業務の振り返り、グループワークでの討議・情報共有により自身の課題解決へのヒントを得ることができました。

また三次アセスメントでは、将来のキャリアアップを目指すための指導・アドバイスを受けました。

今後も継続して人材の育成に取り組んでいきます。

(担当部署：総務部 077-534-0956)

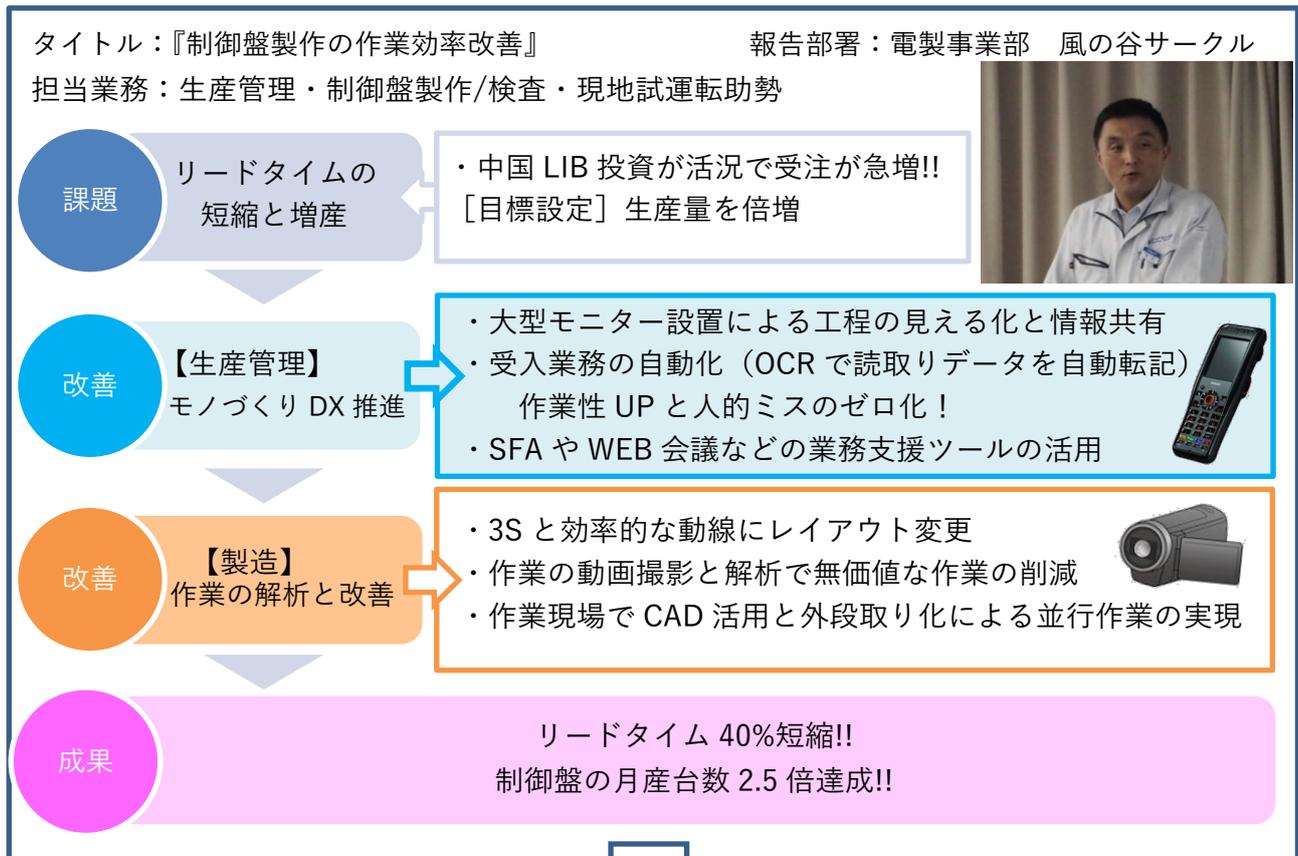


三次アセスメントの様子

TPM全社活動報告会 報告事例紹介

10月27日に開催したTPM全社活動報告会より、報告事例をご紹介します。

(担当部署：TPM推進室 077-534-0956)



電製事業部ではTPM全社活動報告会での報告以外にも多くの改善をしていますので、ご紹介します。

当事業部では、お客様のニーズに合わせた多種多様な制御盤を設計・製作していきまして、様々な種類の電線を使用しています。

その中で、製造現場では太い電線の取り扱いに苦慮していました。従来は、大きな電線ドラムを横倒しにして、必要な長さを測長し切断していましたが、その過程で電線自体に微細なキズ・汚れ等が発生したり、電線ドラムの保管スペース確保が製作エリアの圧迫にも繋がり悩まされていました。そこで、現場の従業員から改善提案を募り、電線の移動式電線ドラム収納ラックを導入しました。ストッパー付きキャスターで移動も可能で、スムーズに電線が引き出せるため、キズ・汚れ等もつかず品質が向上し、作業時間も大幅に短縮出来ました。

